



世界標準 TOEIC®・TOEFL® にも有効 コミュニケーション英語で 世界に通じる英語力を身につけよう！



4技能(聞く・話す・読む・書く)の総合学習がカギ！

2013年5月末現在、日本の英語教育に「抜本的な改革」が起ころうとしています。日本の国際競争力を高めることを目的に、政府は今後5年間で大学のグローバル化を進め、海外大学との連携強化や、世界の大学トップ100に10校以上入れるという目標を掲げました。また、**大学入試にTOEFL®(トーフル)やTOEIC®(トエイック)といった世界130カ国以上で活用されているコミュニケーション英語能力テストを導入することなどで、日本人留学生を12万人に倍増させるとしています。**さらに、現在、**小学5年生から「外国語活動」として行われている英語の正式「教科」化、授業時間の増加、実施学年の前倒しなどが検討されています。**

これらの背景には、いわゆる「グローバル人材」と呼ばれる世界で活躍できる人材が企業から求められており、その育成のためには、従来型の「文法」「訳す」「読む」の英語教育や入試から脱却し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の**4技能による実用的なコミュニケーション能力重視の英語教育が不可欠**であるという政府の考えがあります。

世界で通じる英語力習得のために、**レプトンでは4技能の総合学習を日々行っています。**詳しくは次項をご覧ください。



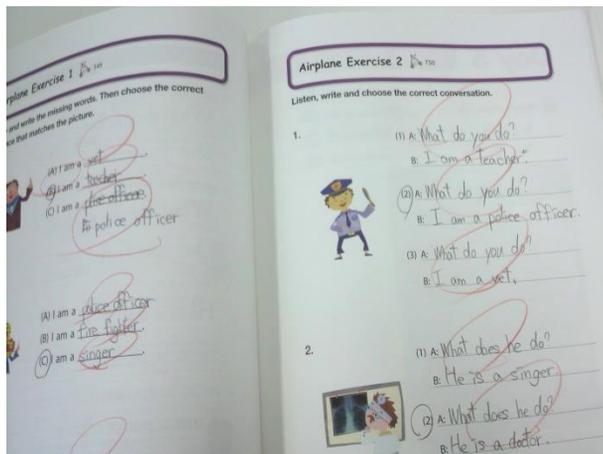
学習した課題を、先生にチェックしてもらっている小2の生徒様。
Lepton西広島教室(広島市)にて撮影



Leptonでの4技能学習例

毎回の学習内容に、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能それぞれのトレーニングが含まれていますので、4技能を総合的かつバランスよく身につけることができます。また、単語や文を聞いて書きとったり、聞いた内容を声に出して言ったりなど、複合型の課題も数多くこなしていきます。以下の例は、ごくごく日常的に行っている基本中のキホントレーニングの一部です。くり返し練習することで“使える”英語を習得します。

聞く (Listening)



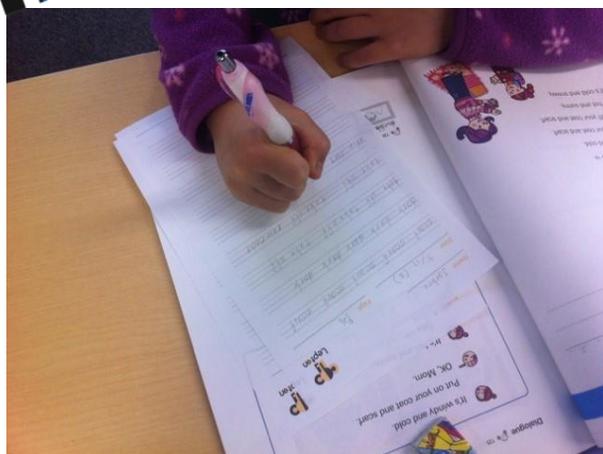
ネイティブの音声を聞き、単語や文をまねて声に出して言ったり、書いたりするのがキホンです。写真は、単語や文を聞いて書き取るディクテーション課題の例です。3組の会話文を聞いて全文書き取った後に、絵にあてはまる内容の組を選びます。ただ書き取るだけでなく、きちんと意味も理解していないと解けません。

話す (Speaking)



ネイティブの音声をまねて、何度も声に出して練習するのがキホンです。また、くり返し音読の練習した後、自分の声を録音して、先生に発音などをチェックしてもらいます。写真は、ICレコーダーに録音しているLepton御所南教室(京都市)の小4のAyanoさんです。

書く (Writing)



くり返し書いて覚えるのがキホンです。写真は、テキストの文を書き写すLepton御所南教室(京都市)の小5の生徒様です。この他、語句を並び替えて文を作る整序英作文などにも取り組みます。さらに、ADVANCEDシリーズでは、中学・高校からTOEIC®・TOEFL®レベルの文法(文法)を学習します。

読む (Reading)



会話文や、童話などの物語文を読んで、その内容に関する英語の質問に、英語で答える(英問英答)練習がキホンです。この他、図表や地図などの絵から、必要な情報を読み取る練習も行います。写真は、読解の練習をするLepton西広島教室(広島市)の小5の生徒様です。

4技能の総合力・バランスを測定する！

世界標準 コミュニケーション英語能力テストの例

中でもTOEIC®（トイーック）がいま一番受検者を集めています。TOEIC Bridge®、TOEIC SW®を含めると、日本では昨年250万人以上受検しており、純国産テストである「英検」の受検者（約230万人）を上回っています。Leptonでは、小学生からTOEIC®・TOEFL®につながる体系的かつ一貫した“使える”英語の教育を行います。

JET(ジェット)	TOEIC®(トイーック)	TOEFL®(トーフル)
小・中学生が主な対象。	大学生や社会人が主な対象。	英語圏の大学・大学院への留学希望者が主な対象。
家庭や学校など、子どもたちの日常生活場面における「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能によるコミュニケーション英語能力を問うテスト。	日常生活やビジネスの場面における「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能によるコミュニケーション英語能力を問うテスト。	大学生活や講義など、アカデミックな場面における「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能によるコミュニケーション英語能力を問うテスト。
米国IMETが開発。	世界最大級のテスト開発機関である米国ETSが開発。	世界最大級のテスト開発機関である米国ETSが開発。
韓国や中国でも実施。世界最大級のテスト開発機関ETSで、TOEIC®開発に携わったスチューパック氏が開発。TOEIC®にシームレスにつながる設計になっている。	世界約150カ国・約1万4000の企業や団体が利用。日本企業の多くが入社志望の大学生や社員を評価するのに利用している。	米国をはじめ、世界約130カ国・8500以上の大学などが、留学希望者の入学試験の一部としてスコア提出を求めている。
http://www.jet-japan.ne.jp/	http://www.toEIC.or.jp/	http://www.cieej.or.jp/toefl/



個別指導だから いつでも始められる！



お子さまひとりひとりに対応いたしますので、小学校低学年のお子さまや、はじめて英語を学習されるお子さまも、ご安心ください！



先生のチェックを受けている小2のOkisan(左)と小4のAyanoさん(右)。いずれもLepton御所南教室(京都市)にて撮影



特報

日本テレビ ZIP!で

レプトン教室が放送されました!



みんなで記念のZIP!ポーズ

2013年5月30日放送の「英語を小学校低学年でも」という特集内で、民間の英語教室の例として、**ガウディアLepton戸塚西口教室（横浜市）**の映像が流れました。上の写真は、残念ながらTV放送はされませんでした。生徒様たち皆で、記念のZIP!ポーズをしているところです。取材時、路面店の教室のまわりには、保護者様や、通りすがりの小・中学生などで人だかりができていました。実は、ほぼ同じタイミングで、他の民放キー局からも同様の取材の打診があったのですが、取材スケジュールの都合がつかず、流れてしまったというもったいないこともございました。時代の流れに敏感なマスコミのLeptonに対する注目度が高まってきている証拠ですね。



レッスンを撮影中



保護者様へのインタビュー収録中

無料体験レッスンは...

0120-981-299

上記フリーコールまでお問い合わせください。
最寄りの教室をご案内させていただきます。
(一部ご希望にそえない地域もございます)
体験したお子さまはみなさん大喜び!
安心して乗り越えください。

固定電話からのみ発信可能

受付時間

10:00~18:00(月~金)

ホームページからも無料体験レッスンのお申し込みが可能です。

<http://www.lepton.co.jp>



個別指導型の英語教室

Lepton

レプトン

4つの技能をすべて習得!



「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能の達成度をJETによって正確に測りながら確実にマスターしていきます。